

カリフラワーは「白さ」が命!

ホワイトベル

カリフラワー

長野県では夏場の冷涼な気候を生かして、標高800~1,200m前後の高地で高品質のカリフラワーが生産されており、6月~9月どりのシェアでは全国トップクラスを維持しています。また、花蕾を白色に仕上げるため葉を縛り(縛葉)、日光を当てないように管理しています。



長野県南佐久郡南牧村地区 標高1,150m

播種:3月27日、4月3日 定植:4月20日、5月3日 収穫:6月25日~



長年作り続けてたどり着いた結論として「ホワイトベル」は6月収穫に最適。



収穫済みの「ホワイトベル」栽培圃場。一斉に収穫できる揃いのよさが魅力。



葉を縛り、カリフラワーの白色を守ります。

【生産者の声】

- ①草勢のコンパクトさ、花蕾の白さ、ボリューム感(800g前後のLサイズ中心)に惚れている。
- ②「ホワイトベル」は900gオーバーになるとバラけたり、7月後半に入ると花蕾、外葉に傷みが出るので注意が必要。

長野県小諸市北大井地区 標高800m

播種:3月26日 定植:4月15日 収穫:6月15日~



純白な花蕾の「ホワイトベル」



縛葉中の「ホワイトベル」



写真左:外葉がコンパクトで立性の「ホワイトベル」

【生産者の声】

- ①密植しているため、従来種は草丈が高い分管理がしづらかったが、「ホワイトベル」は草勢コンパクトで草丈が低い分管理がしやすい。
- ②「ホワイトベル」は従来種より花蕾の形成が早い分縛葉のタイミング(500円玉クラス)を間違えなければ高い秀品率を確保できる。
- ③「ホワイトベル」は早生で花蕾が抜群に白く、従来種より花蕾がコンパクトで最高!
- ④従来種は10a収穫するのに2~3回畑に入らなければならなかったが、「ホワイトベル」は1~2回入れればきれいに片付くので最高!